

令和4年9月吉日

東北各県教育委員会教育長 様
各市町村教育委員会教育長 様
各県小・中・高等学校長 様
各幼稚園長 様
各校国語科主任・国語科担当者 様

東北地区国語教育研究協議会

会長 児玉 忠

第68回東北地区国語教育研究協議会岩手大会

大会実行委員長 大野 眞 男

第68回東北地区国語教育研究協議会 岩手大会

第56回岩手県国語教育研究協議会 盛岡大会

大会参加のご案内（最終）

時下、皆様には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、この度、標記の大会を下記の要領で開催することとなりました。

本大会では、学習指導要領改訂を受けて、子どもたちの「主体的・対話的で深い学び」のための学習指導の在り方について、多くの先生方とともに研究を深めてまいりたいと考えております。

つきましては、関係各位の多数のご参加をいただきたく、ご案内申し上げます。

記

- 趣 旨** 東北地区の国語教育の進展に資するため、過去67回の研究成果に基づいて研究協議する。
- 研究主題** ことばの力が育ち、学びを実感する国語学習の創造
—主体的で協働的な課題解決による質の高い学びを通して—
- 期 日** 令和4年10月21日（金）【**参集型・一日開催**】
- 会 場** 盛岡市立城南小学校 白梅幼稚園 岩手県立盛岡第二高等学校
- 主 催** 東北地区国語教育研究協議会 岩手県国語教育研究会連合会
- 共 催** 岩手県小学校教育研究会 岩手県中学校教育研究会
岩手県高等学校教育研究会
- 後 援** 岩手県教育委員会 盛岡市教育委員会 岩手県立総合教育センター
青森県教育委員会 秋田県教育委員会 宮城県教育委員会 山形県教育委員会
岩手県小学校長会 岩手県中学校長会 岩手県高等学校長協会
日本教育会岩手県支部 一般財団法人岩手県教育振興基金
公益財団法人日本教育公務員弘済会岩手支部
岩手日報社 盛岡タイムス 河北新報社盛岡総局 NHK盛岡放送局
IBC岩手放送 テレビ岩手 めんこいテレビ 岩手朝日テレビ
岩手大学研究支援・産学連携センター 公益財団法人盛岡観光コンベンション協会

8 日 程

9:00	9:45	10:35	10:55	11:45	12:50	14:30	16:20
受付	1校時授業	移動	2校時授業	昼食	授業分科会	研究発表分科会	

※ 弁当の斡旋は行いませんので、各自でご準備ください。

9 参加費 3,000円

【振込先】岩手銀行 上田支店 普通預金 口座番号2096735
東北地区国語教育研究協議会岩手大会 大会事務局 会計 吉田 寛典

※ お振込み元名は、県名、所属、個人名でお願いいたします。

※ 大変恐縮ですが、振込手数料はご負担ください。また、振込通知書をもって領収書に代えさせていただきますので、ご了承ください。

振込期限：10月14日（金）

10 新型コロナウイルス感染症対策について（今後の状況を踏まえ、変更することがあります）

(1) 人数制限

- 各授業会場において、1m程度の間隔をとって参観できるよう人数を制限します。各分科会の人数については、「14 大会申込み方法とその後の流れ」をご参照ください。
- 参加者は予め申し込んだ授業のみを参観し、会場内を自由に参観することはできません。

(2) ゾーニング

- 会場校において、児童生徒と参加者の出入口や使用するトイレを区別します。
- 会場内の通行エリアを限定し、できる限り動線が重ならないようにします。

(3) 換気

- 教室、廊下等、各会場を常時換気とし、2方向の窓を開け、換気効果を上げます。
- 会場内、各階に二酸化炭素濃度測定器を設置し、CO2濃度1000ppm以下を確保します。

(4) マスク着用、手指消毒の徹底

- 会場内では全員マスクの着用をお願いいたします。
- 手指消毒用アルコールを設置し、各自消毒の徹底をお願いいたします。

(5) 会場内のアルコール消毒

- 担当が、会場内のドアノブや蛇口等の消毒を定期的に行います。
- 控室等で使用した座席については各自で消毒をしていただきます。（受付で除菌シート配付）

(6) 体調管理等チェックリストの提出

- 参加者には、体調管理及び感染の疑いに関することについてのチェックリストの提出をお願いいたします。
- 濃厚接触者、感染の疑いがある人は、全て、参加を認めません。

11 問い合わせ先

【小学校事務局】

岩手大学教育学部附属小学校内
小田 誠（おだ まこと）
〒020-0807
盛岡市加賀野 2-6-1
Tel 019-623-7275
Fax 019-653-4609

【中学校事務局】

岩手大学教育学部附属中学校内
鈴木 駿（すずき しゅん）
〒020-0807
盛岡市加賀野 3-9-1
Tel 019-623-4241
Fax 019-629-4243

【高等学校事務局】

盛岡市立高等学校内
吉田 知治（よしだ ともはる）
〒020-0053
盛岡市上太田上川原 96
Tel 019-658-0491
Fax 019-658-0883

【連合会事務局】

盛岡市立仁王小学校内
糸坪 伸宏（いとつぼのぶひろ）
〒020-0015
盛岡市本町通 2-18-1
Tel 019-623-4214
Fax 019-623-4216

1.2 授業分科会

校種	分科会	学年	時	領域	分科会研究主題	授業(単元名, 学習材)	授業者(学校)	授業会場											
幼 小 学 校	1	年長	1	幼小関連 言葉 読むこと	幼・小の関連を考慮し、言葉への興味・関心を養い、学びを実感させる言葉や読むことの学習はどうあればよいか。	みんなであそぼう～そらぐみのおみせやさんへようこそ～	池田 聡美 阿部 桂子 (白梅幼稚園)	白梅 幼稚園											
		1	2			ことばカードでおみせやさんごっこをしよう 「ものの名まえ」	大淵 奈実 (盛岡市立城南小学校)												
	2	6	1	ICT 使用予定	話すこと・ 聞くこと	相手を意識して、自分の思いや考えを伝え合う力を高め、学びを実感する話すこと・聞くことの学習はどうあればよいか。	目的や条件に応じて、計画的に話し合おう 「みんなで楽しく過ごすために」	新沼 忠尚 (盛岡市立見前小学校)	城 南 小 学 校										
							3	5		1	書くこと	相手を意識して、自分の考えを適切に表現する力を高め、学びを実感する書くことの学習はどうあればよいか。	読み手が納得する意見文を書こう 「あなたは、どう考える」	寺山 幸代 (盛岡市立緑が丘小学校)					
													4	2	2	読むこと (低)	内容を読み取る力を高め、感じたことや分かったことを共有し、学びを実感する読むことの学習はどうあればよいか。	自分とくらべて、かんそうを書こう 「わたしは おねえさん」	吉田 寛典 (盛岡市立仁王小学校)
																		5	4
6	6	1	小中関連 言語文化	小・中の関連を考慮し、言語文化に進んで関わり、国語の能力を高め、学びを実感する国語学習はどうあればよいか。	伝統文化を楽しもう 「狂言 柿山伏」「柿山伏について」	内田 禎子 (盛岡市立桜城小学校)													
					1	2	ICT 使用予定	いにしへの心にふれる 「竹取物語」		黒淵 大介 (盛岡市立下小路中学校)									
7	2	2	ICT 使用予定	話すこと・ 聞くこと					目的や場面にに応じて、効果的に自分の思いや考えを伝え合う力を高め、学びを実感する話すこと・聞くことの学習はどうあればよいか。	思いが伝わるプレゼンテーション ～「相手意識」をもつとは～ 「プレゼンテーションをしよう」	藤原 誠吉 (盛岡市立黒石野中学校)								
					8	2	1	書くこと		目的や意図に応じて、自分の考えを効果的に表現する力を高め、学びを実感する書くことの学習はどうあればよいか。	下中生が描く絵の魅力とは ～表現の効果を考え、新入生に伝えよう～ 「魅力を効果的に伝えよう 鑑賞文を書く」	内藤 大輔 (盛岡市立下橋中学校)							
											9	3	1	中高関連 読むこと (現代の国語 または 現代文)	中・高の関連を考慮し、文章を効果的に読み、自分の考えを形成する力を高め、学びを実感する読むこと及び現代文の学習はどうあればよいか。	人間は、社会とどのように関わっているのだろうか ～「故郷」を読むことを通して～ 文章を読んで批評することを通して、自分の考えを深め、発展させる 「エコロジーのミュージックを求めて」	中島 翠 (盛岡市立上田中学校)		
3	2	ICT 使用予定	菅原 将成 (岩手県立盛岡第一高等学校)																
				10	1	2	ICT 使用予定	読むこと (古文)	様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めるための学習はどうあればよいか。	複数のテキストを比較して登場人物の心情を考えよう 伊勢物語「芥川」	佐々木 譲 (岩手県立盛岡第一高等学校)	盛 岡 第 二 高 等 学 校							
11	2	1	読むこと (漢文)							様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めるための学習はどうあればよいか。	登場人物の感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしよう 『史記』より「鴻門之会」		佐々木 直子 (岩手県立盛岡第二高等学校)						

- ・ 幼稚園の授業は白梅幼稚園で行います。その後の分科会は城南小学校で行います。
- ・ 中学校の「小中関連」「話すこと・聞くこと」「書くこと」の授業と分科会は城南小学校で行います。
- ・ 中学校の「中高関連」、高校の全ての授業と分科会は盛岡第二高等学校で行います。

1.3 発表分科会

番号	発表者	助言者	司会者	記録・運営責任者	分科会場
1	千葉 敏之 (岩手・一関市立赤荻幼稚園)	千葉 満佐子 (岩手・いわて幼児教育センター)	上森 奈々子 (岩手・盛岡市立城南小学校)	小笠原 由利子 (岩手・盛岡市立土淵小学校)	城南 小 学 校
	那須川 彩子 (岩手・平泉町立長島小学校)	八木橋 信也 (岩手・平泉町立長島小学校)			
2	中嶋 恵 (秋田・大館市立桂城小学校)	川崎 郁子 (秋田・大館市立扇田小学校)	皆川 めぐみ (岩手・盛岡市立見前小学校)	猪鼻 裕之 (岩手・盛岡市立城南小学校)	
	井藤 直子 (岩手・二戸市立中央小学校)	菊地 光史 (岩手・軽米町教育委員会)			
3	逸見 宗史 (山形・寒河江市立三泉小学校)	須藤 里佳 (山形・河北町立谷地西部小学校)	内川 直子 (岩手・盛岡市立河北小学校)	菅原 尚子 (岩手・盛岡市立城北小学校)	
	箱石 淑子 (岩手・宮古市立田老第一小学校)	三浦 紀久果 (岩手・岩泉町立有芸小学校)			
4	伊深 智美 (宮城・美里町立南郷小学校)	田中 孝子 (宮城・仙台市立八本松小学校)	杉浦 美香子 (岩手・盛岡市立山岸小学校)	伊東 しのぶ (岩手・盛岡市立向中野小学校)	
	佐々木 佳菜恵 (岩手・遠野市立遠野北小学校)	小山 尚也 (岩手・遠野市教育委員会)			
5	奈良 理紗 (青森・青森市立佃小学校)	相馬 克典 (青森・青森市立筒井南小学校)	田代 五月 (岩手・盛岡市立上田小学校)	藤村 大輔 (岩手・盛岡市立山王小学校)	
	木戸口 泰平 (岩手・久慈市立字部小学校)	佐藤 隆司 (岩手・野田村立野田小学校)			
6	熊谷 英治 (岩手・奥州市立水沢小学校)	武藤 美由紀 (岩手・奥州市立佐倉戸小学校)	和美 陽子 (岩手・盛岡市立山岸小学校)	藤原 哲 (岩手・盛岡市立桜城小学校)	
	高橋 拓也 (山形・河北町立河北中学校)	横井 真人 (山形・河北町立河北中学校)			
7	小野 桃子 (青森・佐井村立佐井中学校)	佐々木 宏恵 (青森・八戸市立小中野小学校)	及川 仁美 (岩手・盛岡市立厨川中学校)	高橋 龍太郎 (岩手・盛岡市立大宮中学校)	
	田之岡 悠希 (岩手・宮古市立第一中学校)	柴田 良輔 (岩手・岩泉町教育委員会)			
8	須藤 淳 (宮城・大崎市立古川西中学校)	加藤 正弘 (宮城・栗原市立若柳中学校)	高橋 明子 (岩手・盛岡市立城東中学校)	井上 栄光 (岩手・盛岡市立北陵中学校)	
	熊谷 真帆 (岩手・釜石市立釜石中学校)	吉田 亜矢子 (岩手・釜石市教育委員会)			
9	小野 由樹 (秋田・秋田市立秋田北中学校)	畠山 宏良 (秋田・秋田市立太平中学校)	齋藤 幸恵 (岩手・盛岡市立松園中学校)	佐々木 美香 (岩手・盛岡市立上田中学校)	
	後藤 裕介 (岩手・岩手県立金ヶ崎高等学校)	高橋 直樹 (岩手・岩手県立黒沢尻北高等学校)			
	村松 こずえ (福島・福島県立葵高等学校)	高橋 敏哉 (福島・福島県教育庁高校教育課)			
10	永原 啓嗣 (宮城・宮城県仙台第一高等学校)	渡邊 勝宏 (宮城・宮城県東松島高等学校)	才藤 史紀 (岩手・岩手県立盛岡北高等学校)	荒内 駿介 (岩手・岩手県立盛岡第三高等学校)	
	築田 晃子 (秋田・秋田県立角館高等学校)	櫻田 瑞子 (秋田・秋田県教育庁高校教育課)			
11	公平 久美子 (山形・山形県立東桜学館高等学校)	石田 修 (山形・山形市立商業高等学校)	杉田 英一 (岩手・岩手県立盛岡南高等学校)	戸来 正子 (岩手・岩手県立不来方高等学校)	
	長嶺 海 (青森・青森県立青森西高等学校)	嵯峨 弘章 (青森・青森県立八戸水産高等学校)			

ことばの力が育ち、学びを実感する国語学習の創造
—主体的で協働的な課題解決による質の高い学びを通して—

◆ 主題設定の理由

平成 28 年度の第 63 回大会において、「ことばの力を育み主体的・協働的に学ぶ国語科学習の創造」を大会主題に掲げ、幼・小・中・高・大の系統性を大事にしながら、実生活において生きて働く「ことばの力」の育成を目指してきた。

今回の学習指導要領の改訂及び中央教育審議会答申で示された「令和の日本型学校教育の構築」を踏まえ、言語の教育を担う国語科は、創造的思考や論理的思考、感性や情緒、他者とのコミュニケーションの基盤となる「ことばの力」を育むとともに、社会生活に生きて働く言語力を高め、生涯にわたる言語生活を豊かにするために、次の点に留意して授業改善を進めていく必要がある。

- ア 単元のまとまりの中で、「問題解決の過程」を重視した言語活動を設定すること。
- イ 「言葉による見方・考え方」を働かせた「主体的・対話的で深い学び」を実現すること。
- ウ 言葉に対する「思考力・判断力・表現力」を育成すること。
- エ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を連動させて最適解や納得解を導き出すこと。
- オ 国語科の資質・能力（ことばの力）を高める手段として ICT の活用を図ること。
- カ 自己の学びを振り返り、次の学びに生かすようにすること。

このような教師の側による授業改善が、児童生徒一人一人の真の学びに結び付くためには、学習者である児童生徒自身が自ら学びの手ごたえを感じ、自己の学びのよさや価値を実感することが重要である。したがって、本研究では、学習者の学びの実感につながる国語授業の在り方について実践的に検証することとする。

加えて、これまでに岩手県は、幼稚園や保育園、小学校、中学校、高等学校、大学と、それぞれの校種のつながりを大切にしながら「ことばの力」を育む国語科学習を目指して、「幼小関連」「小中関連」「中高関連」の分科会を設置し、授業実践等を通じて関連を図るべき資質・能力、領域や内容（題材）、学習方法等を明らかにしてきた。今大会においても、その研究的な伝統を踏まえ、3つの関連分科会で授業提案や実践発表を行うこととする。

◆ 研究主題について

1 <ことばの力>と<学びの実感>について

主題にある「ことばの力」とは、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の3つの柱で整理された「国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力」であり、同時に各教科等の学習の基盤となる言語能力である。

「学びの実感」とは、学習における学習者の「わかった」「できた」や、学習に対する「おもしろさ」「楽しさ」であり、学習全体の「納得」「満足」である。そこには、自らの気づきや発見による驚きや感動、他者への共感、新たな知識や技能の獲得に対する喜び、他者と協働して学んだことへの充実感・達成感・自己有用感がある。また、解決過程における間違いや停滞、躊躇や失敗などの紆余曲折や試行錯誤も学びの実感に関係する。

つまり、「ことばの力」は、学習者の「学びの実感」が生まれることでよりよく身に付くものであり、それは、課題解決の思考の中で「言葉による見方・考え方」を十分に働かせて「深い学び」を実現することである。

2 <主体的で協働的な課題解決>について

副題の「主体的で協働的な課題解決」とは、自らの「問い」をもつことで課題を自分事として捉え、互いの考えや立場を尊重しながら異なる他者と協働して課題解決を図る学びである。そこには、学習者の課題解決に対する必要感や必然性があり、解決の過程で自他の考えを比較・分類・整理・統合し、主体的に最適解や納得解を見つけ出そうとする学習者の姿がある。また、指導者が、指導方法や指導体制の工夫及び ICT の活用によって、個々の学習活動の充実を図る「個別最適な学び」を充実させたり、探求的な学習によって、多様な他者と互いの考えを組み合わせることでよりよい学びを生み出す「協働的な学び」を充実させたりすることも重要となる。

3 <質の高い学び>について

「質の高い学び」とは、課題解決の過程において、学習者が「言葉による見方・考え方」を働かせ、国語科の本質である「言葉に基づいた思考」によって、より深く内容を理解したり、より豊かに文章を表現したりしながら「ことばの力」を身につける学びである。そこには、学習者一人一人が自らの感性や知識及び技能を働かせ、じっくりと言葉と向き合い思考する個別の学びと、様々な異なる思考を統合してよりよい考えを創造する協働の学びがあり、それらを意図的に連動させることによって質の高い学びは生まれる。また、学びの質が高まることによって、学習者は自らの学びを省察（メタ認知）し、学習の深化や自己の成長等を自覚することができる。

つまり、「質の高い学び」は、学習者の「主体的で協働的な課題解決」を通して成立するものであり、それは、個別最適な学びや協働的な学びを連動させながら、国語科の本質である「言葉に基づいた思考」によって理解を深めたり表現を高めたりすることである。

15 会場案内図

■ 会場 盛岡市立城南小学校、白梅幼稚園、岩手県立盛岡第二高等学校

[盛岡市立城南小学校] 〒020-0886 盛岡市若園町 9-20 TEL019-623-2358
 [白梅幼稚園] 〒020-0887 盛岡市上ノ橋町 7-63 TEL019-653-1445
 [岩手県立盛岡第二高等学校] 〒020-0887 盛岡市上ノ橋町 7-57 TEL019-622-5101

..... <交通案内>

『バス』【往路】(所要時間約10分)

- 盛岡駅前東口バス乗り場(5・6番乗り場),「旧バスセンター」下車,徒歩5分
- 盛岡駅前東口バス乗り場(12番乗り場),「若園町」下車,徒歩1分

(所要時間約15分)

- 盛岡駅前東口バス乗り場<循環バス>(でんでんむし号),「若園町」下車,徒歩1分

【復路】<循環バス>(でんでんむし号)盛岡駅行き

- 右回り:「若園町」※15分間隔で運行 ○左回り:「若園町」※15分間隔で運行

『車(タクシー)』○盛岡駅から約10分

.....

- ◇1校時,幼稚園の授業は,白梅幼稚園で行います。城南小学校にて受付を行い,移動してください。(徒歩2分)
- ◇中高関連と高校の授業は,受付も含め盛岡第二高等学校で行います。直接,盛岡第二高等学校にお進みください。
- ◇駐車場はございませんので,公共の交通機関を利用するか,近隣の駐車場をご利用ください。

..... <おもな駐車場>

『会場周辺』 ㊤盛岡駐車場:250台 ㊦志家大駐車場:600台 ㊧中ノ橋パーキング:260台

『盛岡駅周辺』 ㊨盛岡駅西口地区駐車場:約280台 ㊩NPC盛岡駅前パーキング:約370台

※駐車料金はそれぞれ異なります。

